



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 ラサ工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4022 URL <http://www.rasa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 庄司 宇秀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 永戸 正規

TEL 03-3278-3892

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	15,466	6.7	655	8.4	442	21.1	409	10.0
25年3月期第3四半期	14,502	△7.5	603	△51.2	365	△61.6	372	△56.0

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 488百万円 (110.5%) 25年3月期第3四半期 232百万円 (△69.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	5.17	—
25年3月期第3四半期	4.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	31,638	8,073	25.3	100.79
25年3月期	30,403	7,585	24.7	94.54

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 7,992百万円 25年3月期 7,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	10.9	1,050	41.5	600	53.5	500	18.3	6.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	79,442,038 株	25年3月期	79,442,038 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	145,059 株	25年3月期	142,226 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	79,299,136 株	25年3月期3Q	79,300,972 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策などにより円安が進み、原材料の輸入価格や、エネルギーコスト上昇などの影響がありましたが、輸出企業を中心に収益の改善が進み、緩やかな景気回復基調にあります。

このような環境のなかで、当社グループといたしましては、中期経営計画の2年目を迎え、引続き「安定した収益力」と「財務健全化の達成」を基本方針として業績の向上に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高は154億66百万円(前年同期比6.7%増)、営業利益6億55百万円(前年同期比8.4%増)、経常利益4億42百万円(前年同期比21.1%増)、四半期純利益は4億9百万円(前年同期比10.0%増)となりました。

当社グループのセグメント別の概況は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①化成品事業

磷酸などの燐系製品につきましては、原材料高の影響が続いているものの、一般品及び二次塩類等の出荷数量が若干の増加となったことや、価格改定の進捗に伴い、収益面は回復してまいりました。また、電子工業向け高純度品は、輸出に若干の回復が見られ増収となりました。

水処理用などの凝集剤は、エッチング関連業界向けが低調であったものの、官庁向けが堅調に推移したことから若干の増収となりました。

コンデンサー向け原料は、前年並みで推移しました。また、消臭剤は、シェアの回復により大幅な増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、102億31百万円(前年同期比9.0%増)、セグメント利益(営業利益)は、4億67百万円(前年同期比5.0%増)となりました。

②機械事業

破砕関連機械につきましては、経済政策による公共事業の拡大が顧客の稼働率向上に繋がったことにより、部品販売が堅調に推移し、またプラント工事も増収となりました。しかしながら、震災関連需要の一巡により単体機械の販売は大幅に減少し、全体としては若干の減収となりました。鋳鋼品は、若干の減収となりました。

下水道関連の掘進機は、円安を背景に輸出販売が堅調に推移し、レンタル物件も前年同期に比べ増加したことから、増収となりました。

また、精密機械加工は、低迷が続き減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、31億10百万円(前年同期比2.6%増)、セグメント利益(営業利益)は、2億84百万円(前年同期比57.8%増)となりました。

③電子材料事業

化合物半導体向け高純度無機素材につきましては、全般的に価格軟化の影響を受けておりますが、移動体通信業界が、好調に推移していることなどから、ガリウムの出荷は増加しました。また、インジウムにつきましては、国内の発光ダイオード業界の低迷が続いていることから、大幅な減収となりました。赤燐につきましては、販売価格の低下がありましたが、出荷数量は堅調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は、12億43百万円(前年同期比5.1%増)となり、セグメント利益(営業利益)は、1億17百万円(前年同期比27.8%減)となりました。

④その他

石油精製用触媒の再生事業と、不動産の賃貸は、ほぼ前年並みで推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は、8億81百万円(前年同期比2.4%減)、セグメント利益(営業利益)は、5億30百万円(前年同期比0.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産につきましては、流動資産が前連結会計年度末に比べて13億45百万円増加し、154億93百万円となりました。この主な増減理由としては、現金及び預金が9億11百万円増加、及び受取手形及び売掛金が3億14百万円増加したことなどによるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べて1億10百万円減少し、161億44百万円となりました。この主な内訳は、有形固定資産が1億85百万円減少した一方、投資有価証券が90百万円増加したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債につきましては、主として支払手形及び買掛金が3億93百万円増加、及び長期借入金が4億73百万円増加したことなどによって、前連結会計年度末に比べて7億47百万円増加し235億65百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産につきましては、四半期純利益4億9百万円を計上したことなどによって、前連結会計年度末に比べて4億88百万円増加し80億73百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における資産合計は316億38百万円となり、自己資本比率は25.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月15日公表の予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度の適用)

第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,018	4,930
受取手形及び売掛金	6,383	6,698
商品及び製品	1,478	1,611
仕掛品	930	1,019
原材料及び貯蔵品	810	754
その他	543	500
貸倒引当金	△16	△19
流動資産合計	14,147	15,493
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,515	5,418
機械装置及び運搬具(純額)	1,846	1,601
工具、器具及び備品(純額)	283	293
土地	5,155	5,155
リース資産(純額)	42	37
建設仮勘定	414	564
有形固定資産合計	13,258	13,073
無形固定資産		
借地権	919	919
その他	35	31
無形固定資産合計	954	950
投資その他の資産		
投資有価証券	1,307	1,398
その他	791	767
貸倒引当金	△56	△44
投資その他の資産合計	2,042	2,120
固定資産合計	16,255	16,144
資産合計	30,403	31,638

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,098	3,492
短期借入金	11,258	10,826
未払法人税等	74	27
賞与引当金	137	69
その他	1,263	1,602
流動負債合計	15,832	16,018
固定負債		
長期借入金	4,529	5,003
退職給付引当金	1,744	1,931
その他	711	611
固定負債合計	6,985	7,546
負債合計	22,817	23,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,443	8,443
利益剰余金	△827	△418
自己株式	△34	△35
株主資本合計	7,580	7,989
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△23	33
繰延ヘッジ損益	4	5
為替換算調整勘定	△64	△35
その他の包括利益累計額合計	△83	2
少数株主持分	87	80
純資産合計	7,585	8,073
負債純資産合計	30,403	31,638

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	14,502	15,466
売上原価	10,959	11,827
売上総利益	3,542	3,639
販売費及び一般管理費	2,938	2,984
営業利益	603	655
営業外収益		
受取配当金	25	15
受取地代家賃	31	30
為替差益	65	122
違約金収入	—	58
その他	92	78
営業外収益合計	215	304
営業外費用		
支払利息	273	259
休止鉱山鉱害対策費用	80	69
その他	99	188
営業外費用合計	454	517
経常利益	365	442
特別利益		
受取和解金	58	—
特別利益合計	58	—
特別損失		
減損損失	3	—
特別損失合計	3	—
税金等調整前四半期純利益	420	442
法人税、住民税及び事業税	56	57
法人税等調整額	△5	△10
法人税等合計	51	46
少数株主損益調整前四半期純利益	368	395
少数株主損失(△)	△3	△14
四半期純利益	372	409

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	368	395
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△103	56
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	△32	35
その他の包括利益合計	△136	93
四半期包括利益	232	488
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	242	495
少数株主に係る四半期包括利益	△10	△7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化成品 事業	機械 事業	電子材料 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	9,384	3,032	1,183	13,599	903	14,502	—	14,502
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9	—	—	9	19	29	△29	—
計	9,393	3,032	1,183	13,608	922	14,531	△29	14,502
セグメント利益	445	180	163	789	529	1,319	△715	603

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油精製用触媒再生及び不動産の賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△715百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△719百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化成品 事業	機械 事業	電子材料 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	10,231	3,110	1,243	14,585	881	15,466	—	15,466
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	10	—	9	20	25	45	△45	—
計	10,242	3,110	1,252	14,605	906	15,512	△45	15,466
セグメント利益	467	284	117	870	530	1,400	△745	655

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油精製用触媒再生及び不動産の賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△745百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△744百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含めておりました精密機械加工の事業を、会社組織の変更に伴い、「機械事業」に報告セグメントを変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。